

NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

米主要株価指数は反発

米株式市場では、英製薬大手アストラゼネカのワクチン開発の臨床試験で有効性を示す結果が公表されたことに加え、来月にも米製薬大手ファイザーのワクチン接種が開始される見通しとの報道を受けて、主要株価指数は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比 404 ドル高まで上昇した。終盤には上げ幅を縮小したが、327.79 ドル高 (+1.12%) で終了。一方、ハイテク株中心のナスダックは、一時マイナス圏まで下落する場面もあったが、終盤にかけて再び堅調な動きとなり、25.66 ポイント高 (+0.22%) で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	石油・ガス	6.11%	1	シェブロン	6.11%
2	資本財	2.45%	2	ボーイング	5.97%
3	素材	2.21%	3	ウォルト・ディズニー	3.48%
4	金融	2.11%	4	アメリカンエキスプレス	3.12%
5	消費者サービス	1.30%	5	JPモルガン・チェース	2.88%

データを基に SBILM が作成

ドルは主要通貨に対して上昇、対円で 1 週間ぶりの高値

NY 市場では、アジア市場から続いた流れを引き継ぎ、ドル/円は序盤から狭いレンジ内の展開で始まった。新規材料に乏しい中、序盤に発表された 11 月の米製造業・非製造業 PMI が市場予想を大きく上回る結果となったことが好感され、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。ドル/円は、序盤の安値 103.70 から 104.64 まで上昇し、11/16 以来 1 週間ぶりの高値となった。一方、新型コロナウイルスのワクチンの開発進展を背景に景気回復への期待感から米主要株価指数が上昇したことを受けて、クロス円は堅調も動きとなった。終盤にかけて、ドルは欧州通貨や資源国通貨に対して上値の重い動きとなったことから、対円でも上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。